

令和6年度 氷見市教育総合センターだより 第4報

調査研究事業【ICT教育推進委員会】

「氷見市 ICTスキル体系表」の作成を進めています！

ICT教育推進委員会では、「各校でICT活用推進計画に基づいた取組を進めるとともに、情報活用能力の育成に向けた調査・研究を行う」という目的の下、研修を推進しています。

今年度は、「情報活用能力に関する体系表」の作成に重点的に取り組んでいます。その理由は、どの学校、どの学級の児童生徒も、タブレット端末を有効活用できるICT活用スキルを身に付けられるようにしたいと考えたからです。

現在作成中の体系表には、その学年で最低限身に付けてほしい活用スキルを明記しています。先生方にはこの体系表を確認していただき、どの児童生徒も最低限の活用スキルを身に付けられるよう、授業等で積極的にタブレット端末を活用していただきたいです。



氷見市 ICTスキル体系表(小学校版)

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
基本操作	操作	・電源のオンオフ ・クリック・ダブルクリック ・音量調整 ・写真や動画の閲覧	・写真や動画のコピーや削除	・ファイルの作成と名前の変更	・フォルダの作成と名前の変更	・目的に合わせて、フォルダ内にファイルを整理して保存	
	画像 動画	・カメラで写真を撮る	・カメラで動画を撮る	・ピントを合わせて写真や動画を撮る	・必要に応じて写真や動画を切り取る	・画像を編集する	・画像・動画を編集する
	情報 検索	・手書き入力(フリック入力)で画像を検索	・ソフトウェアを使って検索する(Yahoo!キッズ等)	・ローマ字入力をして、サイトを検索する	・いくつかのキーワードをローマ字入力し、必要な情報を集める	・いくつかのサイトを比較して、情報を取捨選択する	
タイピング			ローマ字入力でのタイピング (10文字/1分間)	20文字/1分間	30文字/1分間 (漢字や言葉に変換)	40文字/1分間 (漢字や言葉に変換)	

※作成途中のため、今後変更になる場合もあります。

第2回 ICTを活用した授業づくり研修会

10月24日(木)

指導助言 富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 長谷川 春生 先生

【朝日丘小学校】6年社会科「戦国の世から天下統一へ」授業者:野崎 悦之 教諭

○本時におけるICT活用

- ・本時の目標「織田信長が天下統一に向けて行った政策等について理解し、自分の言葉でまとめることができる」の達成に向け、Canva で作成した HP から情報へアクセスしやすくしたり、PowerPoint を使ってグループで効率よく情報を集めたりすることができるようにした。



<グループでの調べ学習>

○学習の様子

- ・単元を貫く学習問題「天下統一に向けて働きがより大きかったのは、織田か豊臣か」について、根拠に基づいた自分の考えをもてるようにするため、織田信長の業績等についてグループで調べ学習を行った。
- ・導入では、Canva で作成したスライドを提示して、児童がこれまでの学習を想起したり、活動の見通しをもったりできるようにした。
- ・調べ学習では、グループの友達と調べることを分担し、各自が調べたことを PowerPoint のスライドにまとめて共有を図った。

○協議会 (Teams の Whiteboard を使い、グループごとに付箋メモをまとめながらの協議)

- ・PowerPoint を使って調べたことをまとめることで、調べた情報をグループ内で共有できてよい。教師が作成したポータルサイトにより、必要な情報に簡単にアクセスできていた。
- ・調べたことと天下統一とのつながりを考えることが大切である。共同編集により、1枚のシートに調べたことをまとめたり、振り返りをエクセル等で蓄積・共有したりする方法もある。

○指導助言

- ・導入で、教師が見やすく分かりやすいスライドを提示しながら、これまでの学習を振り返ったことは、児童の歴史上の人物への興味・関心や活動意欲を高めることにつながった。
- ・引用する場合等、「コピー&ペースト」が必ずしもよくないわけではない。ただ、児童がその内容を十分に理解できるようにする手立てが必要である。
- ・教師の活用のねらいに応じて、デジタルと紙(ノート)を使い分けていけばよい。

第83回富山県科学展覧会

《出品作品展示》

場所：氷見市役所

期間：10月22日(火)～11月1日(金)



イラスト出典：illust AC

令和6年度「氷見市児童生徒科学作品展覧会」【9月7日(土)・8日(日)、教育文化センター4階ホールにて開催】には、小学校・義務教育学校(前期)から「22点」、中学校・義務教育学校(後期)から「50点」、合計『72点』が出品されました。

その中から、研究方法・内容の独創性や追究の仕方の創意工夫等において、特に優れていると認められた作品4点が、第83回富山県科学展覧会に出品され、「創意工夫賞」「研究努力賞」を受賞しました。

県科学展覧会に出品された4点の作品については、10月22日(火)から11月1日(金)の間、氷見市役所の教育委員会前通路に展示しました。

今年度は、衆議院選挙・富山県知事選挙の投開票が10月27日(日)になったこともあり、期日前投票に来られた多くの一般市民の方々に見ていただくことができました。



《 創意工夫賞 》

ぼくちんにやってきたカニのひみつパート3
～べにこのさんらんと赤ちゃん～
比美乃江小学校4年 洲崎 佳佑



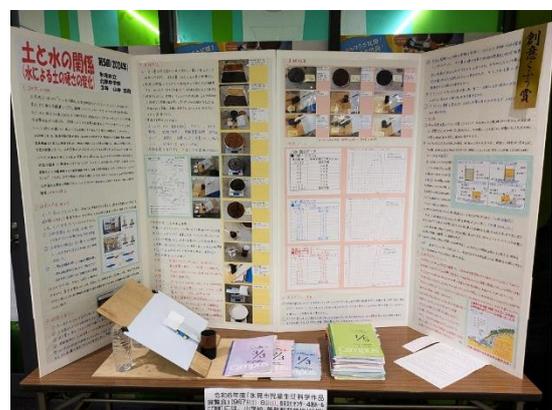
《 創意工夫賞 》

ボールのひみつ
～よくはずむボールをさがせ～
比美乃江小学校4年 三輪 謙太



《 研究努力賞 》

イツ臭タイム!!においなくな〜れ
西の杜学園4年 山下 歩南



《 創意工夫賞 》

土と水の関係
—水による土の硬さの変化—
北部中学校3年 山本 悠月

1/2成人式

6月5日(水)～11月8日(金)

—ふるさと氷見を愛し 次代を担う人づくり— 氷見市立博物館、図書館の見学



<博物館>

氷見市では、10歳という節目を迎える4年生が、公共の施設を見学したり、話を聞いたりする中で、社会参画に向けての自覚をもつことをねらいとして、「1/2成人式」を行っています。

博物館では、「比べる」という視点を基に、昔の暮らしと今の暮らしとを比較しながら理解を深めました。また、図書館では、自分で図書カードを作る、読書や勉強をしている人のことを考えて静かに過ごすなど、公共のマナーやルールを学びました。

これから、氷見に誇りと愛着をもつ子供の育成を願って、「ふるさと教育」を押し進めていきます。

これから、氷見に誇りと愛着をもつ子供の育成を願って、「ふるさと教育」を押し進めていきます。



<図書館>

令和6年度「ひみっ子の夢と希望」きらめき推進事業

氷見市小学校音楽会

10月22日(火):氷見市芸術文化館

出演者 セリオラクインテット:西浦由佳里(声楽・ソプラノ)、緒方里珠(フルート)
廣瀬大悟(トロンボーン)、井上貴信(チェロ)、戸島園恵(ピアノ)



<セリオラクインテットによる演奏>

氷見市小学校音楽会は、氷見市小学校長会が主催し、「市内の6年生が一堂に会し、プロの音楽家の生の演奏を聴くことにより、芸術の素晴らしさに触れる」ことをねらいとして、毎年開催しています。

本年度は、「時空を超えた音楽旅行」と題して、セリオラクインテット(音楽家5名)の演奏による、グレゴリオ聖歌をはじめとしたクラシックやオペラ、アニメ等の曲を鑑賞しました。

ベートーベンの交響曲第9番「歓喜の歌」では、児童が曲の一節を声楽家の

西浦さんの指導で練習した後、実際の演奏の中で合唱しました。

本演奏会は、児童と同年代の女の子が過去にタイムスリップし、音楽の歴史をたどりながら現代に戻ってくるというストーリー仕立てとなっており、児童は楽しみながら、音楽の素晴らしさに触れるだけでなく、音楽等の歴史や作曲家についての理解を深めることができました。



<児童が参加した合唱>

<児童の感想>

- 今日の演奏会で、ベートーベンが耳の病気をもっていたことや、西暦何年に戦争が起こったなどの日本の歴史、音楽の楽しさについても今まで以上に知ることができました。
- 西浦さんが、私と同じ氷見市出身ということがうれしかったです。5人だけで演奏して、迫力ある音色を出せることに驚きました。機会があれば、もう一度聴きたいです。
- ベートーベンの交響曲第9番は、他の国の言葉だったので最初は難しかったけれど、だんだん慣れてきて、本番ではみんなと合わせてしっかりと歌うことができてよかったです。

「まなDX氷見」の活用の輪を広げよう！



「まなDX氷見」のQRコード

氷見市教育総合センターでは、ICTの活用が一層促進されるように、ICT支援サイト「まなDX氷見」を定期的に更新しています。小中共同・小学校・中学校ごとに様々な活用事例を紹介しています。それぞれの活動事例には「よかったこと・アドバイス」や「関連記事」が載っています。「自校でも取り入れたい」「授業や活動の中で、ぜひ試してみたい」という事例もあると思います。アクセス回数が増え、活用の輪が、どんどん広がっていくことを願っています。

なお、「まなDX氷見」には、各学校のホームページの「みんなで学ぼう！ふるさと氷見」からもアクセスできます。



******* 新着図書 の 紹介 *******

今回は、夏季研修会等に講師として来ていただいた先生方の著書を中心に、「新着図書」を紹介します。



このほかにも、学級づくりや授業づくりの参考になる図書、ICT教育や特別支援教育関係の図書、教育関係月刊誌や季刊誌もありますので、気軽にご活用ください。

< 新 着 図 書 >

図 書 名	著 者・発 行
○学校の未来はここから始まる	木村 泰子、工藤 勇一、合田 哲雄 著 教育開発研究所
○10年後の子どもに必要な「見えない学力」の育て方	木村 泰子 著 青春出版社
○「みんなの学校」から「みんなの社会」へ	尾木 直樹、木村 泰子 著 岩波書店
○タテマエ抜きの教育論 －教育を、現場から本気で変えよう！－	木村 泰子、菊池 省三 著 小学館
○道徳授業の板書づくり&板書モデル大全	『道徳教育』編集部 編 明治図書
○道徳教育を充実させる多様な支援	田沼茂紀、島恒生、竹内善一、廣川正昭 著 学文社
○納得と発見のある道徳科 －「深い学び」をつくる内容項目のポイント－	島 恒生 著 日本文教出版
○島恒生・吉永幸司のみんなでつくる「考え、議論する道徳」	島 恒生、吉永 幸司 著 小学館
○「ほんとのこと」は、親にはいえない	木村 泰子 著 家の光協会
○対話「2050年の日本の学校教育」 －持続可能な未来社会に向けて－	多田 孝志、諏訪 哲郎 著 キーステージ21
○道徳教育推進教師の役割と実際 －心を育てる学校教育の活性化のために－	永田 繁雄、島 恒生 編 教育出版
○子どもの心の受け止め方 －発達につまずきのある子を伸ばすヒント－	川上 康則 著 光村図書
○教室マルトリートメント	川上 康則 著 東洋館出版
○教師の流儀	川上 康則 著 エンパワメント研究所